

第48回各務原市地域公共交通会議 議事要旨

日 時	令和8年6月5日(金) 14:00~
場 所	各務原市産業文化センター 8階第2特別会議室
出席者 (敬称略)	<p>【委員】(敬称略)</p> <p>高井 勇輔 (名古屋鉄道株式会社地域連携部交通サービス担当課長)</p> <p>臼井 雅宏 (名鉄バス株式会社運輸統括部交通企画官)</p> <p>宮部 敬輔 (岐阜乗合自動車株式会社営業管理部課長)</p> <p>木村 治史 (公益社団法人岐阜県バス協会専務理事)</p> <p>石井 靖治 (岐阜交通東部株式会社代表取締役)</p> <p>山田 健太郎 (株式会社日本タクシー代表取締役社長)(代理:加藤太志)</p> <p>玉置 文博 (名鉄西部交通株式会社取締役営業本部長)</p> <p>平下 和重 (岐阜県タクシー協会岐阜支部支部長)</p> <p>正村 明 (岐阜乗合自動車労働組合執行委員長)</p> <p>多和田 和徳 (市自治会連合会筆頭副会長)</p> <p>神谷 育世 (子ども子育て会議委員)</p> <p>石野 栄一 (中部運輸局岐阜運輸支局首席運輸企画専門官)</p> <p>小澤 利彦 (岐阜土木事務所施設管理課長)</p> <p>中村 俊夫 (各務原市都市建設部長)</p> <p>三浦 太志 (各務原警察署交通課長)(代理:岡田圭司)</p> <p>大脇 哲也 (岐阜県都市建築部リニア未来都市局公共交通課長) (代理:川口義治)</p> <p>横山 直樹 (各務原商工会議所専務理事)</p> <p>杉山 仁 (株式会社アイシン移動サービス事業推進部移動サービス企画室 室長)</p> <p>川端 光昭 (岐阜工業高等専門学校環境都市工学科准教授)</p> <p>鷲主 英二 (各務原市副市長)</p> <p>【事務局】 各務原市 都市建設部都市活力創造課</p>

■次第

・議事

- ① 各務原市地域公共交通会議の役員選任
- ② 令和7年度事業報告および決算
- ③ 令和8年度事業計画および予算
- ④ ふれあいバスの改正について
- ⑤ 緑苑団地デマンド便について
- ⑥ 各務原市地域公共交通計画の変更について
- ⑦ 地域公共交通確保維持事業に係る計画について
- ⑧ 令和7年度地域公共交通計画の個別施策の進捗状況および確認指標の評価

・報告

- ① 各務原市地域公共交通に関する調査について
- ② 公共交通イベントについて

- ③ 令和6・7年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について
- ④ ふれあいバスの停留所移設について

## ■開会

### 【事務局】

定刻となりましたので、ただ今より、「第48回各務原市地域公共交通会議」を開催します。それでは、委員長より委員の皆様にご挨拶申し上げます。

## ■委員長挨拶

### 【鷺主委員長】

本日は、今年度第1回目となります「第48回各務原市地域公共交通会議」にご出席いただき誠にありがとうございます。今回は、昨年度の事業報告と決算、今年度の事業計画と予算についてご協議いただきます。また、4月1日から休止中の緑苑団地デマンド便の再開や、各務原市地域公共交通計画の変更についてもご協議いただきます。皆様の活発なご意見に期待します。

## ■定足数確認

### 【事務局】

各務原市地域公共交通会議設置規約第7条第2項の規定により、開会には委員の過半数の出席が必要です。本日は委員25名中、17名がご出席、委任状により代理出席の方が3名ですので、本会議が有効に成立していることを報告いたします。ここからは、委員長に議事の進行をお願いします。

## ■議事

### 【鷺主委員長】

議事1「各務原市地域公共交通会議の役員選任について」、事務局からの説明をお願いします。

### 【事務局】

役員を選任について、ご説明します。

各務原市地域公共交通会議設置規約第6条では、この交通会議に委員長1名・副委員長1名・監事2名を委員の中から互選により置くことになっています。現在は、副市長の鷺主が委員長、岐阜工業高等専門学校の前川端准教授が副委員長、昨年度、3月までは各務原商工会議所の各務専務理事と市自治会連合会の並木副会長、4月からは横山専務理事と多和田副会長に監事を務めていただいております。現役員の任期が6月末までですが、次回の公共交通会議を円滑に進行するため、任期中ではございますが、7月1日以降の次期役員選出をお願いします。

### 【鷺主委員長】

事務局の説明にご質問はございませんか。では、立候補やご推薦はございますか。

※挙手なし

【株式会社アイシン 杉山委員】  
事務局一任

【鷺主委員長】  
事務局一任の声がありましたので、事務局案をお願いします。

【事務局】  
引き続き、委員長に副市長の鷺主、副委員長に岐阜工業高等専門学校 川端准教授、監事に市自治会連合 多和田副会長・商工会議所 横山専務理事を選任する案を事務局より提示します。

【鷺主委員長】  
事務局案が提示されましたが、皆様、ご異議ございませんか。

※異議なし

【鷺主委員長】  
では、委員長は私が、副委員長は川端准教授、監事は多和田副会長・横山専務理事で務めさせていただきます。

【鷺主委員長】  
議事2「令和7年度事業報告および決算について」、事務局の説明をお願いします。

(事務局と株式会社アイシン 杉山委員より議事2・報告1・報告2の説明)

【鷺主委員長】  
杉山委員と事務局の説明についてご意見ご質問はございませんか。

【岐阜工業高等専門学校 川端委員】  
報告1の3ページに記載がある各交通手段別の満足度は、アンケートに回答した全体の満足度もしくは利用者に絞った満足度どちらになりますか。

【事務局】  
公共交通を利用したことがある方の満足度です。

【岐阜工業高等専門学校 川端委員】  
報告2の総括に半数以上の参加者が今後の公共交通利用意欲を示したとありますが、参加者へどのようにアンケートをしましたか。

【事務局】  
具体的にいつ利用するかなどは聞いていませんが、今後公共交通を利用できれば良いという回答が多くありました。

【岐阜県 大脇委員（代理：川口義治氏）】

報告 1 の 3 ページにふれあいバスの記載がありますが、バスは中型サイズですか。また、運賃はいくらですか。

【事務局】

現在は、川島線のみ中型サイズです。運賃は 1 乗車 100 円です。

【岐阜県 大脇委員（代理：川口義治氏）】

報告 2 の 2 ページのマナー&ヘアメイク講座では、主に若い女性が参加し、公共交通関連の職業への興味を喚起したとありますが、マナーとヘアメイク以外にどのような関心喚起をしましたか。

【事務局】

イベントの中で、鉄道やバスなど市内の公共交通について参加者へ説明する時間を設け、利用を促しました。

【鷺主委員長】

議事 2 「令和 7 年度事業報告および決算について」、ご承認いただけますか。

※承認

【鷺主委員長】

議事 3 「令和 8 年度事業計画および予算について」、事務局の説明をお願いします。

(事務局より説明)

【鷺主委員長】

事務局の説明についてご意見ご質問はございませんか。

※委員からの質問や意見なし

【鷺主委員長】

議事 3 「令和 8 年度事業計画および予算について」、ご承認いただけますか。

※承認

【鷺主委員長】

議事 4 「ふれあいバスの改正について」、事務局の説明をお願いします。

(事務局より説明)

【鷺主委員長】

事務局の説明についてご意見ご質問はございませんか。

【中部運輸局岐阜運輸支局 石野委員】

車両はノンステップバス（低床バス）ですか。また、警察と道路管理者へ確認したとありますが、試走はしていますか。

【事務局】

ノンステップバスです。また、中型バスで運行することが危険な区間は確認しています。今回全路線を中型バスで運行可能とする理由は、突発的な事情でポンチョが足りなくなった際にふれあいバスの運行が止まってしまうことがないようにするためです。日頃は、ポンチョで運行します。

【鷺主委員長】

議事 4「ふれあいバスの改正について」、ご承認いただけますか。

※承認

【鷺主委員長】

議事 5「緑苑団地デマンド便について」、名鉄西部交通株式会社 玉置委員からの説明をお願いします。

（玉置委員より説明）

【鷺主委員長】

この件について事務局からの補足説明があります。

（事務局より説明）

【鷺主委員長】

玉置委員と事務局の説明についてご意見ご質問はございませんか。

【中部運輸局岐阜運輸支局 石野委員】

一部サービスを変更したとありますが、具体的に前回と変更した点を教えてください。

【事務局】

前回との変更点は、時刻を設定したところです。停留所には時刻表を掲示します。地域の皆様にも回覧などで周知する予定です。

【岐阜工業高等専門学校 川端委員】

最初は10便で運行を開始して、利用実績に合わせて6便に選定するとありますが、6便の選定方法は、利用者が多い上から6つを選ぶもしくは利用実績や利用者への聞き取りなどをしながら選定するのかどちらになりますか。利用者が少ない便でも時刻をずらすことで利用が増える可能性も考えられるため慎重に選定してください。

**【事務局】**

8月からは、1便から10便の時刻表の中で予約があった先着5便を運行しますが、1便目の利用者が4名以上いた場合は、タクシーを2台用意して1便を2つにすることも考えています。また、名鉄グループからは黒字でなければ継続は難しいと言われていています。そのため、地域でも支えられないかということで緑苑自治会からの財政支援などをゼロベースで検討する場が立ち上がることになっています。緑苑団地デマンド便が再開する時期と自治会内の議論が始まる時期が一緒のため、自治会に丁寧に説明しつつ利用者へのヒアリングもしていきたいと考えています。そのあたりを考慮しながらサービスの継続が図れるよう努めていきます。

**【鷺主委員長】**

議事5「緑苑団地デマンド便について」、ご承認いただけますか。

※承認

**【鷺主委員長】**

議事6「各務原市地域公共交通計画の変更について」、事務局の説明をお願いします。

(事務局より説明)

※委員からの質問や意見なし

**【鷺主委員長】**

議事6「各務原市地域公共交通計画の変更について」、ご承認いただけますか。

※承認

**【鷺主委員長】**

議事7「地域公共交通確保維持事業に係る計画について」、事務局の説明をお願いします。

(事務局より説明)

※委員からの質問や意見なし

**【鷺主委員長】**

議事7「地域公共交通確保維持事業に係る計画について」、ご承認いただけますか。

※承認

**【鷺主委員長】**

議事8「令和7年度地域公共交通計画の個別施策の進捗状況および確認指標の評価について」、事務局の説明をお願いします。

(事務局より議事 8・報告 3 の説明)

【鷺主委員長】

交通事業者の皆様にも、令和 7 年度事業についてそれぞれご報告をいただきたいと思います。

【名古屋鉄道株式会社 高井委員】

令和 7 年度の市内 12 駅の乗降者人員の実績は、前年比約 2%増加となりました。券種別で全路線と各務原線の輸送人員を比較すると、通勤定期券利用者は全線 1.6%増加、各務原線は三柿野駅中心に好調で全線を上回る増加率でした。通学定期券利用者は、全線 0.8%増加、一方で各務原線は減少傾向にあります。定期外利用者は、全線 4.4%増加、各務原線も増加傾向ですが全線よりは下回っています。取り組みの紹介ですが、各務原線は 1926 年 1 月に開業して 100 周年を迎えました。すでに終了しましたが、記念系統板を使用した運行や記念乗車券の販売などを行い大変好評でした。また、2024 年度に引き続き、こども manaca おでかけキャンペーンを 8 月から 9 月と 12 月から 2 月の計 2 回実施しました。今後も manaca や、CentX などのデジタルツールも活用しながら鉄道および公共交通全体の利用促進に取り組みたいと考えています。

【名鉄バス株式会社 臼井委員】

各務原市内にある停留所 3 か所の利用実績は前年比 100%となりました。停留所別で見ると川島口や松倉口は 110 から 120%増えています。取り組みの紹介ですが、公共交通イベントにバスを持ち込んで乗車体験を実施しました。小学生向けの安全教室、高齢者向けの乗り方教室などにも協力しています。また、IC カードなどのキャッシュレス決済にも力を入れています。他の自治体ではありますが、市民サービスの一環として、自治体と連携しマイナカードと紐づけて、市民の方が路線バスを利用するとその分を還元する取り組みもしています。今後も利用促進を継続していきます。

【岐阜乗合自動車株式会社 宮部委員】

令和 6 年と令和 7 年は、運転士不足もありバスの減便を行いました。そのためバスの利用者は減少しました。運転士不足を解消するため、処遇改善を実施したこともあり今年度はダイヤの減便をしていません。4 月の利用者を見ても前年並みで落ち込んでいない状況です。今後も運転士の人数が増えていけばダイヤの増便なども検討していきたいと考えています。

【岐阜交通東部株式会社 石井委員】

議事 8 の 8 ページにタクシーの利用者は、2025 年 272,228 人、前年比 10.4%増加とありますが、当社は横ばいでした。タクシーは利用人数ではなく、配車数で見ているため利用者が増加した実感はありません。昨年度の 3 月 11 日に、中部運輸局から許可をいただき 3 年ぶりに運賃改定しました。運賃改定率は 12.24%と 1 割以上増加したため、3 月の収入は 110%を記録しています。運賃が変わった中でも、新たに時間指定料金が 200 円になるなど各種料金にも変更があったため 4 月と 5 月も 20%から 30%増えています。しかし、燃料費が前年の 1.8 倍となったことやクレジットカードなどのキャッシュレス決済の増加に伴い、利用者の 4 割がキャッシュレス決済を使用しているためかなりの手数料負担増となっています。また、アプリの使用料も増加傾向にあり経営を圧迫しています。しかし、

運賃改定により人件費などへ積極的に投入することができました。取り組みの紹介ですが、子育てタクシー研修などを行っています。今後もより一層公共交通機関としてふさわしいものになれるよう尽力していきます。

**【株式会社日本タクシー 山田委員（代理：加藤大志氏）】**

取り組みを2点紹介します。1点目は、女性乗務員の比率を25%以上にすることです。こちらは時給制の給与形態や日曜日休みの導入をしています。この取り組みにより、299名の乗務員に対して、女性乗務員が74名と24.7%まで増えています。2点目は、UDタクシーの比率を80%にすることです。現状260台のうち194台と約75%がUDタクシーとなっています。今後も2点の取り組みを継続し、柔軟な対応を可能とすることでお客様の評判につなげていきます。

**【岐阜西部交通株式会社 玉置委員】**

当社は鶉沼付近で8台の車両で運行していますが、それ以上に運転士は確保できています。岐阜交通東部株式会社石井委員から運賃値上げの話がありましたが、当社としては運賃値上げによる影響は感じていません。予約方法として、配車アプリの利用が増えています。今後もアプリ利用は増えていくと感じています。

**【岐阜県タクシー協会 平下委員】**

岐阜名鉄タクシーの立場で話をさせていただきます。緑苑団地デマンド便の休止に関して地域住民の皆様にご迷惑をおかけしました。当社は、各務原市に営業所がないため関市から配車をしていました。また、名鉄西部交通株式会社は配車センターがありますが、当社は配車センターで対応できず外部に委託したため経費を圧迫してしまいました。本来であれば、名鉄グループとして休止から再開まで間をあけることなく運行事業者を切り替えることができればよかったのですが、4か月間休止してしまい申し訳ございませんでした。

**【株式会社アイシン 杉山委員】**

チョイソコかかみがはらは、前年比16.7%増加ということで、昨年5月からタクシー2台体制となったこともあり利用が増えています。夕方は、70代から80代が中心ですが、駅まで利用する20代も増えています。運行全体で見ても利用は増えてきているため、乗合の促進などしていきます。チョイソコかわしまは、前年比234.5%増加となっていますが、車両には空きがあります。報告1のアンケート結果にもあったとおり、周知活動が不足していると認識していますので、利用者が増えるよう尽力していきます。

**【東海旅客鉄道株式会社 井上委員（代読：事務局）】**

コロナ禍で利用が減少していたものの、インバウンドの利用も好調で回復傾向にあります。なお、高山本線を走行する特急「ひだ」について、昨年10月からチケットレス乗車サービスを開始しました。チケットレス商品とTOICAを併せて利用いただくことでチケットレス乗車いただけるものであり、お客様からも利便性向上に対する好評の声を頂戴しています。引き続き、サービスの向上に取り組んでいきたいと考えています。

**【鷺主委員長】**

事務局の説明や交通事業者の皆様のご発言について、ご意見ご質問はございませんか。

【公益社団法人岐阜県バス協会 木村委員】

バス事業者から報告があったとおり、バス業界は深刻な運転士不足です。そこで、バス業界を知ってもらうためにバス業界就職支援パンフレットを作りました。パンフレットには、バスが安心安全な乗り物であることやバスの運行に関わる方々へのインタビューなどを掲載しています。公共交通イベントや説明会などで活用していきます。また、8月26日にバス運転体験会&合同就職説明会を開催します。バスの運転士不足のなかで、運転体験などをきっかけに採用へつなげていきたいと考えていますのでご協力をお願いします。

【岐阜県 大協委員（代理：川口義治氏）】

本日の午前中に岐阜市公共交通会議に参加してきました。そこで、小中学生や短期大学の学生に向けて公共交通の利用や、業界に興味をもってもらえるような普及啓発活動に取り組んでいる話がありました。公共交通に興味関心をもってもらうことはもちろん大事ですが、交通事業者への就職を目的としたイベントに力をいれることも大事だと考えます。就職支援として、地元企業とのマッチング、合同企業説明会など市主催の就職支援の事業に絡めることもできると思うため、貴市としても検討すると良いと思います。

【岐阜工業高等専門学校 川端委員】

議事 8 の 11 ページの二次評価結果で地域住民や観光客等という記載があります。その結果の反映状況を見ると、あまり観光客に触れていません。貴市の地域公共交通計画を見ると、観光客の対応は鉄道になると思います。各公共交通別でメインターゲットは異なっていますが、市内の公共交通は地域住民をターゲットにしています。地域住民をメインターゲットにすることは良いですが、観光客をどうフォローしていくかについても触れておくが良いと思います。

【事務局】

市外の方からは、航空宇宙博物館や河川環境楽園へのアクセス方法についての問い合わせが多く、そちらへのアクセスは川島線をご利用いただくことになります。川島線は、地域住民の移動手段ではありますが、観光路線としても位置づけているため、今後、観光客についても記載します。

【鷺主委員長】

議事 8 「令和 7 年度地域公共交通計画の個別施策の進捗状況および確認指標の評価」について、ご承認いただけますか。

※承認

■報告

【鷺主委員長】

報告 1 から 3 については議事の中で説明がありましたので、報告 4 「ふれあいバスの停留所移設について」、事務局からの説明をお願いします。

(事務局より説明)

**【鷺主委員長】**

この件について、ご意見ご質問はございませんか。

**【中部運輸局岐阜運輸支局 石野委員】**

蘇原大島のバス停は、美容院の出入口ですが安全上問題ありませんか。

**【事務局】**

路線バスの停留所でもあり、岐阜乗合自動車株式会社が協力依頼をする際に地主へ直接確認を行っているため問題ございません。

**【鷺主委員長】**

以上で、本日の議事、報告事項はすべて終了とさせていただきます。  
その他、報告等はございませんか。

**【中部運輸局岐阜運輸支局 石野委員】**

アジア・アジアパラ競技大会に係る混雑緩和のご協力について

**【鷺主委員長】**

最後に、川端准教授に本日の会議の総括をお願いします。

**【岐阜工業高等専門学校 川端委員】**

各交通事業者から事業報告を受けると見通しがわかりやすくて良いと思います。会議によっては、事業者からの発言がなく、なんのための情報共有の場なのかわからないため毎回このような機会があると非常に良いと改めて思いました。

モビリティマネジメントについて話をします。今から20年から30年前の私がまだ小さい頃は、バスや鉄道はカッコいい印象がありました。それが10年から15年前となるとバス車両の老朽化や利用者が少なく閑散とした印象を持つようになりワクワクするような気持ちが無くなってきた印象です。しかし近年は、ポンチョの登場やLRTなどが増えて学生がワクワクしている姿を見るようになってきました。モビリティマネジメントの考え方の中に行動変容がありますが、若者の就職先として交通事業者も選択肢となっていくと良いと思います。そのためには、交通事業者の既存ストックを有効活用していくこと、行政が手厚く交通事業者をフォローすること、交通事業者が行政の支援に対して協力していくことが重要となります。引き続きよろしくをお願いします。